

第 18 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2016. 1. 28 空田 さやか

大正富山医薬品(株)

選択的 SGLT 2 阻害薬『ルセフィ』

大正富山医薬品(株) 小滝さん

場所:コンパス薬局

参加者: 内科 沢先生、内科職員さん、松下さゆり、熊山ともみ、空田さやか

死因の上位にあげられる肝がん、肝硬変の原因には非アルコール性のものがあり、そのうち肥満型糖尿病患者の併発する脂肪肝があげられる。(BMI25 以上の肥満症患者の 75%が脂肪肝を併発しているとの報告がある。) 近年発売された新しい糖尿病治療薬である SGLT2 阻害薬「ルセフィ」はそのリスクを減少させる可能性があるということから、今回は肝機能にフォーカスをあて紹介する。

〈効果・効能〉

2 型糖尿病

〈用法〉

通常、成人にはルセオグリフロジンとして 2.5mg を 1 日 1 回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら 5mg1 日 1 回に増量することができる。

〈特徴〉

- ・単剤投与ならびに既存の 6 種類の経口血糖降下薬との併用投与において優れた血糖改善効果を示し、52 週間にわたり減弱することなく効果を維持する
- ・血圧降下作用、心血管イベント減少、体重減少、肝機能維持、尿酸値改善効果を併せもつ
- ・SU 剤、DPP4 阻害剤に比べ優位に肝繊維化、肝脂肪沈着を減少させた
- ・代謝経路がグルクロン酸抱合と酸化代謝経路があり、複数の代謝経路で代謝されることにより、中等度以下の腎/肝障害患者への薬物動態の影響が他の SGLT2 阻害薬に比べ著しく低い。→添付文書上の慎重投与欄に唯一用量調節などの記載がない
- ・錠剤には「ルセフィ」と印字され判別しやすい

〈副作用〉

頻尿 (2.8%)、低血糖症 (2.4%)、尿中 $\beta 2$ ミクログロブリン増加 (2.1%、尿細管障害の指標)

〈考察〉

SGLT2 阻害薬には現在 6 種類の薬剤があり、効果はいずれもほとんど変わらないと言われている。そのうちルセフィは中等度の腎/肝障害の患者様への投与について制限がない点で差別化されている。しかし、中等度以上の腎/肝障害をもつ糖尿病患者様は比較的多くいらっしゃると思われるので他の薬剤同様腎/肝機能の確認を来局時に行っていく必要があると考える。

また、一包化を必要とする患者さんにとっては、錠剤に「ルセフィ」と印字されているおかげで、途中で中止となった場合においても薬が抜きやすいという点で使用しやすいと考えられる。

最後に、SGLT2 阻害薬は今後糖尿病治療薬としてだけでなく脂肪肝に対する治療薬としての可能性もあるとのことなので、今後の適応症の変動に注視していきたい。